本仕様書は、千葉県が委託する「(仮称) ちばの「海と夕陽」フォトコンテスト事業」の企画提案募集にあたり、業務の概要として、業務内容及び要求事項、確認事項等を示すものである。なお、最終的な業務委託仕様書については、事業受託者の決定後、協議の上、県が作成する。

(仮称) ちばの「海と夕陽」フォトコンテスト事業 業務委託仕様書

1 目 的

海と夕陽の絶景が楽しめる本県において、一般の方・市町村・観光事業者等を対象としたフォトコンテストを実施し、千葉ならではの「海と夕陽」のイメージ作りや認知度向上を図るとともに、「海と夕陽」の素材を発掘・収集し、今後の観光誘客や消費拡大に向けた観光地域づくりやプロモーションにつなげていく。

2 委託期間

契約開始日から令和8年3月31日（火）まで

3 (仮称) ちばの「海と夕陽」フォトコンテストの実施概要

(1) 募集写真

- ・千葉ならではの「海と夕陽」の魅力が伝わる写真
- ・「次、千葉に行くときは海と夕陽を楽しもう」と思わせる写真
(観光誘客や消費拡大につながる写真)
- ・「綺麗!」、「エモい!」と思わせる海と夕陽の写真

(2) 募集部門

ア 一般部門 対象：県内外の一般の方（周知は県内のみ）

イ 市町村部門 対象：県内の市町村の観光課など

ウ 観光事業者部門 対象：宿泊・観光施設や飲食店など

(例)「海と夕陽がきれいに見える客室・露天風呂・レストラン・カフェ」
「海と夕陽と一緒に映える食事・酒」など

※各部門における入賞の概要（入賞者数・特典含む）を提案すること

※市町村及び観光事業者部門の入賞者（作品）については、次年度以降、千葉県が実施する夕陽プロモーションにおいて優先的に取り扱うものとする。

(ホームページ、SNS、ポスター、動画、広告など)

(3) スケジュール（予定）

- ・募集期間 令和7年11月下旬～令和8年1月
- ・審査 令和8年2月
- ・発表・講評・総括 令和8年3月

※スケジュールは県と協議の上、決定するものとする

4 委託業務内容

(仮称) ちばの「海と夕陽」フォトコンテスト実施に際し、事務局の設置・運営や、コンテストの周知宣伝、審査、関係機関との連絡調整及び応募作品のデータ整理等の一切の業務を行う。

(1) 事務局の設置・運営

(仮称) ちばの「海と夕陽」フォトコンテスト事務局として以下の業務を行うこと。

ア 応募要項の作成 (入賞の概要含む)

イ フォトコンテストの進行管理

ウ 応募作品のデータ及び応募者の個人情報の管理

(作品として法令上や権利等の問題がないかの確認含む)

エ 応募者・入賞者との連絡調整、特典 (賞品) 等の準備・提供

オ 応募作品の審査及び審査員の選定

一次審査は事務局で実施し、二次審査は審査員 (県含む) により実施する予定である。

※ 審査員は提案の上、県と協議をして決定するものとする

カ 応募作品の著作権処理

応募作品は、千葉県のPR用に使用する目的で、県 (県が許可した第三者を含む。) が無償かつ無期限に使用、掲載、転載、公衆送信などをすることに対する了承を応募者から得ること。

キ 応募作品のデータ整理

ク その他、コンテストの実施に当たり必要な受託者が提案し、県と協議をして決定した事項

(2) コンテストの周知宣伝等

ア 周知宣伝用チラシ等の作成・配布

・チラシ等 (A4判1枚 カラーを想定)

※コンテストの周知に必要なチラシのイメージ、枚数及び配布先等を提案すること

イ ウェブページの作成・運営

・コンテストに関するウェブページを以下のとおり構築すること。

①募集用ページ

②結果掲載ページ

③その他、コンテストの実施等に当たり必要なページ

・募集ページには以下の情報を掲載すること。

①開催概要

②応募要項

③入賞者特典の情報

- ④応募フォーム
 - ⑤千葉県公式観光サイト「ちば観光ナビ」などのホームページバナー
 - ⑥その他、募集に当たり必要な情報
 - ・結果掲載ページには以下の情報を掲載すること。
 - ①入賞者及び入賞作品
 - ②その他、結果掲載に当たり必要な情報
 - ・上記に示した各ウェブページは、パソコン及びスマートフォンでの閲覧に最適化させること。
 - ウ その他、コンテストの周知に当たり効果的な受託者が提案し、県と協議をして決定した事項
- (3) 自由提案
- 上記のほか、コンテストの実施及び今後の千葉の「海と夕陽」ブランディング及びプロモーション効果を高めるための取組等を提案すること。
- なお、自由提案の実施に要する経費も、委託料上限額の範囲内とすること。

4 成果物等の作成・提出

- (1) 応募作品のデータ等納品
- 県の今後のプロモーションに効果的に活用できるよう、応募作品のデータ等を整理の上、DVD等に保存したものを成果物として納品すること。
- (2) 事業実施報告書
- 全ての業務が完了したら、その内容等について「事業実施報告書」を作成し、本業務完了後、詳細に報告すること。

5 留意事項

- (1) 本業務の実施に要する全ての経費は、委託料に含むものとする。
- (2) 受託者は、遵守すべき関係法令等に則り、適正に業務を遂行すること。
- (3) 受託者は、事業を実施するにあたり、責任者を置き業務全般の進行管理や調整機能を一元的に行うとともに、県と綿密に打ち合わせを行い、その指示に従うこと。
- (4) 本業務における作製物の取扱いは次のとおりとする。なお、作製にあたって必要な権利関係の調整等は、受託者の負担において行うものとする。
- ア 本業務の履行における作製物の所有権は全て県に帰属するものとする。
- イ 作製物が著作権法（昭和 45 年法律第 48 号）第 2 条第 1 項第 1 号に規定する著作物（以下「著作物」という。）に該当する場合には、当該著作物に係る受託者の著作権（著作権法第 21 条から第 28 条までに規定する権利をいう。）を当該著作物の引渡時に県に無償で譲渡するものとする。
- (5) 受託者は、本事業を実施するに当たり、対人、対物事故についての補償を行う保険に加入するほか、速やかに県に連絡できる体制を構築するなど、その

責において事故や運営上の問題等が生じた場合に責任をもって対応し解決を図れるようにすること。

- (6) 受託者及び本業務に関わる者は、職務上知り得た秘密を漏らし、また、自己の利益のために利用してはならない。本業務委託終了後も同様とする。
- (7) 事業の実施に当たっては、法令等を遵守し、本業務で取り扱うこととなる個人情報管理は適正に実施すること。
- (8) 天災等、県・受託者双方の責に帰することができない事由によって委託業務を完了することができなくなったときは、業務の出来形部分が可分のものである場合は、検査の上、当該検査に合格した部分の業務を完了したものとする。
- (9) 本仕様書に明示のない事項又は業務上生じた疑義については、県と受託者が協議し対応を図ることとする。
- (10) 委託業務の実施に当たっては、県と必要な協議及び打合せを十分に行い、その指示に従い、誠実に業務を進めるものとする。